

令和6年度 第1回学校運営協議会 議事録
【学校評価部会・キャリア部会・地域連携部会】

- 1 日 時 令和6年 5月29日（水曜日）15時00分～16時30分
- 2 会 場 県立横浜清陵高等学校 会議室（大、小）
- 3 出席者 学校運営協議会委員 9名（1名欠席）
県立横浜清陵高等学校教職員 11名
- 4 協議内容

（1）学校評価部会（全体会）

1. 学校教育計画、グランドデザイン等について（校長）

○学校教育計画について

- ・ 学校教育計画は今年度新たに設定（令和6～9年度）
- ・ 学校教育目標については変更なし。
- ・ 課題や展望については、特に学習・進路支援において、支援ツールを全年次で統一していきたい。
- ・ 進路指導については、外部業者の力を借りながら、生徒が自らの立ち位置を把握できるように工夫している。

2. 各グループ業務内容、昨年度の全体的な振り返り（事務局）

○学校評価報告書について

- ・ 令和5年度実施結果についての概要を説明。

○各グループ業務について

- ・ 今年度より、本校の6グループのうち、2つのグループの名称が変更された。

【意見】

- ・ 「よい授業」とあるが、どのようにこれを定義しているのか（委員）
⇒生徒による授業評価や、新カリキュラムのねらいに対応した授業（事務局）
⇒「知識の習得」ではなく「知識の活用」を重点においた授業。また、外部模試に対応できるレベルの授業（事務局）

- ・ 昨年の議事録によれば、清陵高校の外国語のレベルが低いとあったが、このことについてどのように考えているか（委員）

⇒今年度より英検を全生徒対象に実施するが、その効果がすぐ表れるとは言い難い。校内における外国につながるのある生徒との交流も強化していきたい。（校長）

3. 令和6年度 学校評価報告書目標設定 について

○企画広報グループより

- ・ ホームページの充実度をさらに高めていきたい。具体的には、清陵ナビについて月2回以上の更新を目標としている。

○学習支援グループより

- ・ 授業改善研修に力を入れていきたい。また、探究の指定校として、生徒満足度の高い授業計画を立てていく。

○キャリアガイダンスグループより

- ・ 外部模試の分析から、今後の方針につなげたい。令和5年度卒業生については、指定校推薦を選んだ生徒が減少し、自分の意思で一般受験や総合型選抜を選んだ生徒が増加した。

○生徒支援グループ

- ・ 教育相談のハードルを下げるために、全員参加型のサポートドックを取り入れている。

○活動支援グループ

- ・ 本校の魅力である部活動について、教員の働き方改革と両輪で進めていく。

○管理運営グループ

- ・ 全職員が一丸となり、とにかく事故防止を徹底する。
- ・ 式典（特に卒業式）について、生徒だけでなく保護者や地域の方々にも喜んでもらえるようにしたい。

【委員からの意見】

- ・ 生徒による授業評価の視覚化されたデータ等を、協議会にも共有してもらえると分かりやすい。
- ・ 進路指導室を、もっと生徒たちが利用しやすいような空間にできるとよいのではないかと。
- ・ 外国人留学生の受入については県が窓口になっているのが現状だと思うが、学校が独自で窓口を設定するとより充実するのではないかと。
- ・ 生徒たちの希望や意思を第一にした、第一志望を全うさせる進路支援を行ってほしい。
- ・ 本校生徒（特に女子）の制服の着こなしについて、不安視している。保護者や地域住民からの目も気にしてほしい。

- ・ 保育園でも主体的保育が進んでいるので、清陵高校でも引き続き主体的な力を養う教育を進めてほしい。
- ・ せっかく近隣であるので、保育園と清陵高校との間でも関わりをもたせて主体的な力をつけてほしい。
- ・ 横浜商業高校は清陵高校と比較して地域との関わりが大きい。清陵高校からもぜひ働きかけをしてほしい。
- ・ 清陵は避難場所になるはず。地域の防災についても地域連携活動ができないか考えてほしい。
- ・ ICT の多岐にわたる活用を考えていってほしい。

(2) キャリア部会

○本校におけるキャリア教育の課題、改善点についての協議

- ・ 進路の手引きを見ながら、昨年度の進路状況と推移の共有 (事務局)
- ・ 昨年度の課題だった、「行ける大学」から「行きたい大学」への移行が見え始めている。
- ・ 一般受験が 50%を超えた。生徒全体の意識を高める。
- ・ 昨年度 3 年次の前期成績上位者 15 名のうち 13 名が指定校に流れてしまった。
- ・ 2 年次遠足において、慶應、青山、明治、明治学院の 4 校のいずれかを班ごとに見学することで、生徒の進路への意識を高めた。

【委員からの意見】

- ・ 進路の手引について、「合格体験記」の人数を増やしたり、手書き掲載にしたり、卒業生から在學生への大学生活レポートや勉強法アドバイス等を掲載したりすれば、もっと生徒が関心を抱き、積極的に読んでくれるのではないか。
- ・ キャリアパスポートを単なる儀式的な記録などに終わらせないことが必要。書式にこだわらないポートフォリオを作成させればよい。合格した生徒のキャリアパスポートを在校生に公開するのはどうか。

(3) 地域連携部会

○昨年度の「地域との協働」について (事務局)

- ・ どんどん商店街でのボランティア
- ・ 保育園ボランティア
- ・ 年次別の地域清掃
- ・ 地域ケアプラザ主催のお祭り (過去)

○「地域との協働」に関する提案（委員）

- ・ 吹奏楽部に保育園で演奏会をやってもらいたい。地域の方も呼べるよう、本格的に企画させてほしい（可能なら企画から高校生と一緒に考えたい）。
- ・ 神輿の担ぎ手ボランティアを募集しているが、清陵からはここ5～6年、ボランティアが来ていない。ぜひやってほしい。

（4）学校評価部会（全体会）

- ・ キャリア部会および地域連携部会からそれぞれ内容報告（（2）（3）参照）。
- ・ 校長からの挨拶と今後の予定を確認した後に終了。

令和6年度 第1回学校運営協議会・評価部会 名簿（敬称略）

【学校運営協議会】

	氏名	所属	キャリア部会	地域連携部会	出欠
会長	岡明 秀忠	明治学院大学 文学部 教授	○		出
副会長	田邊 克彦	元 神奈川県総合教育センター 所長	○		出
1	木川 英美	清水ヶ丘保育園 園長		○	出
2	平戸 明彦	横浜清陵高等学校 キャリアアドバイザー（元河合塾校舎長）	○		出
3	熊切 隆	横浜市立蒔田中学校 校長		○	欠
4	根岸 光司	太田地区町内連合会 副会長		○	出
5	相川慎一郎	神奈川県立横浜清陵高等学校PTA会長		○	出
6	金子 博美	横浜市立南太田小学校 校長		○	出
7	山口 修司	神奈川県立横浜清陵高等学校 校長	○		出

【事務局】

1	副校長	吉田 淳一		
2	教頭	小澤 美紀		
3	事務長	長谷川 浩		
4	総括教諭	宮崎 康太		企画広報グループGL
5	〃	秋月 和宏		学習支援グループGL
6	〃	高橋 伸行		キャリアガイダンスグループGL
7	〃	林 玲子		活動支援グループGL
8	〃	市口 勇志		生徒支援グループGL
9	〃	中西 宏光		管理運営グループGL